学校番号	１１５

平成３１年度　公民科　現代社会

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年	１年
類型等	共通						
使用教科書	「高校　現代社会（新訂版）」（実教出版）						
副教材等	「テーマ別　現代社会資料集」（とうほう）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代社会は，現代の日本や世界の課題に取り組む科目です。
最初は自分たち青年の課題から始めて，私たちを取り巻く社会の問題や課題，日本の課題，世界の課題，日本と世界の関わりにまで，視野を広げて考えてゆきたいと思っています。そのためには，皆さんにも世の中のことに興味・関心を持って，様々な課題と自分との関わりについて主体的に考えてもらいたいと思っています。
日頃から，新聞やテレビなどを通して，ニュースに接するようにしましょう。

２　学習の到達目標

１．人間の尊重と科学的な探求の精神を育てる。
２．現代社会の基本的な問題について公正な判断ができるようにする
３．人間としての在り方生き方について考える力を身につけさせる
４．良識ある公民として必要な能力と態度を育てる

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め，意欲的に課題を追究するとともに，社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加，協力する態度を身に付け，現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見いだし，社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに，社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断する	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付けるとともに，追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や，学び方を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	・授業への参加態度 ・ノートの提出 ・課題の提出	・ノートの提出（記述） ・授業中の発言 ・課題の提出 ・小論文などの課題	・資料の読み取り ・新聞やインターネットの利用による資料・情報の収集	・考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
	青年期の自己形成 人間として生きるきる 日本人としての自覚	１．青年期とは ２.自己形成の課題 ３.自己形成の課題 ４.職業生活と社会参加	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		○	a:青年の生き方に対する関心を高め，生涯における青年期の意義と自己形成の課題を意欲的に追究し，現代の社会に生きる青年としていかに生きるかについて考えようとしている。 b:課題を見いだし，青年期のもつ意義と自己形成の課題について多面的･多角的に考察している。 これらを考察した過程や結果をまとめたり発表などを行ったりして表現している。 c:青年に関する諸資料や情報を様々なメディアを通して収集し，主体的に選択して活用している。 d:青年期の意義と自己形成，望ましい職業観・勤労観や男女共同参画社会，社会参加，などについて理解し，知識を身に付けている。	・学習に対する意欲・態度 ・現代的事象への関心 ・現代的事象・事項の理解 ・現代的事象に対する思考判断力 ・課題に対する理解・関心 ・授業への参加態度
		１．哲学と人間 ２．宗教と人間 ３．科学と人間 ４.自由との実現 ５．人間と幸福 ６.人間性の回復と主体性の確立 ７．他者の尊重	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○		 ○ ○ ○ ○ ○		
		１.古代日本人の思想と仏教思想の展開 ２.外来思想の受容と日本の思想″	○ ○			○ ○		
	私たちの生きる社会 ①地球環境問題	１.破壊される地球 ２.地球環境問題への取り組み	○ ○	○ ○	○	○ ○	a: 地球環境や資源エネルギー，人口食料問題に対する関心が高まり，課題を意欲的に追究し，自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。 b:地球環境や資源エネルギー問題について自己とのかかわりに着目して課題を見いだし，環境保全，温暖化防止をどのように図っていくかを多面的･多角的に考察している。 c: 地球環境や資源エネルギー，人口食料問題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集	・学習に対する意欲・態度 ・現代的事象への関心 ・現代的事象・事項の理解 ・現代的事象に対する思考判断力 ・課題に対する理解・関心 ・授業への参加態度 ・プレゼンテーションやディベートなどの活動への参加
	②資源・エネルギー問題	１.限りある資源 ２.エネルギーの開発と利用 ３　原子力と再生可能エネルギー	○ ○ ○	○ ○ ○		 ○		

	③人口・食料・貧困の問題	１.人口問題と食料・水資源 ２．人口と食料	○ ○	○ ○		○ ○	し,学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d: 地球環境や資源エネルギー,人口食料問題について理解し,知識を身に付けており，また，問題の生じる背景や問題点を追究する観点として,様々な観点があることを理解し,その知識を身に付けている。	
	生命科学と情報技術の課題	１.人間の生死と生命科学 ２.遺伝情報と利用の諸課題 ３.高度情報化社会と情報倫理	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○	a:科学技術の発達,特に生殖への介入や尊厳死・安楽死の問題，脳死と臓器移植,遺伝子技術と生命の問題に対する関心が高まり,自己とのかかわりに着目して設定した課題を意欲的に追究し,自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。 ｂ:科学技術の発達について自己とのかかわりに着目して課題を見いだし,科学技術の発達に伴う生命の考え方の変化について多面的･多角的に考察している。 ｃ:諸資料を様々なメディアを通して収集し,学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 ｄ:科学技術の発達に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し,学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。	・学習に対する意欲・態度 ・現代的事象への関心 ・現代的事象・事項の理解 ・現代的事象に対する思考判断力 ・授業への参加態度・プレゼンテーションやディベートなどの活動への参加
	憲法と日本の政治 ①民主主義の歴史	１.民主政治の成立 ２.民主政治の基本原理 ３.民主政治のしくみと課題 ４.世界の主な政治制度	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	a: 現代の民主政治に対する関心を高め,民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方を意欲的に追究し，考えようとしている。 ｂ:現代の民主政治から	・学習に対する意欲・態度 ・現代的事象への関心 ・現代的事象・事項の理解 ・現代的事象に対する思

	②日本国憲法の原則	１.日本国憲法の制定 ２.日本国憲法の基本的性格 ３.自由に生きる権利 ４.平等に生きる権利 ５.社会権と参政権・請求権 ６. 新しい人権 ７.人権保障の広がりと公共の福祉 ８.平和主義とわが国の安全	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	課題を見いだし，個人と国家の役割や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について多面的・多角的に考察し，民主政治の在り方や民主社会における人間としての在り方について社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断している。 ｃ:現代の民主政治とその課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し，収集した資料の中から個人と国家の役割や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 ｄ:国民主権と議会制民主主義など日本国憲法の基本原則と世論形成や政治参加の意義，民主政治の課題について理解し，その知識を身に付けている。	考判断力 ・課題に対する理解・関心 ・授業への参加態度

	日本の政治のしくみ	１.政治機構と国会 ２.行政権と行政機能の拡大 ３.公正な裁判の保障 ４.地方自治と住民福祉 ５．政党政治 ６．選挙制度 ７.世論と政治参加	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a. 国会の仕組みと権限,実際の運営について関心を高め,意欲的に考えようとしている。司法権の独立,裁判制度,違憲法令審査権の意味について関心を高め,意欲的に考えようとしている。 b. 議院内閣制について,議会と内閣の間にどのような関連があるかを考えるとともに,行政の在り方が課題になっていることについて考察している。 c. 三権分立や国会の組織,法律の成立過程,憲法改正,内閣の権限,行政機構,日本の裁判制度等の教科書記載の図を適切に活用している。国会における審議や内閣の動き,行政機構の働き,裁判の仕組みと展開について,報道で提供される情報等を収集整理し,学習内容が具体的に理解できるよう効果的に活用している d. 国会の国政における位置付けや権限,国会における法律案や予算の審議ルールについて理解し,その知識を身に付けている。議院内閣制の仕組みについて理解するとともに,行政事務等を遂行する内閣の職務と権限,行政の在り方に関する課題について理解し,その知識を身に付けている。司法権の独立の意義,日本の裁判制度の特色,司法制度改革等,司法に関する知識を身につけている。	・学習に対する意欲・態度 ・現代的事象への関心 ・現代的事象・事項の理解 ・現代的事象に対する思考判断力 ・課題に対する理解・関心 ・授業への参加態度 ・プレゼンテーションやディベートなどの活動への参加

	経済のしくみと日本の経済 ①経済原論 ②企業・市場・金融・財政	１.経済主体と経済活動の意義 ２.経済社会の変容 ３.市場のしくみ ４．市場の失敗 ５．現代の企業 ６．国民所得 ７.経済成長と国民の福祉 ８．金融の役割 ９.日本銀行の役割 １０.財政の役割と租税 １１.日本の財政の課題	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:・現代の経済社会における個人,企業や公的部門の経済活動に対する関心を高め,それを意欲的に追究し経済活動の在り方について考えようとしている。 ｂ:現代の経済社会における個人,企業や公的部門の経済活動から課題を見いだし,消費者,納税者としての個人の経済活動における社会的責任について多面的･多角的に考察し,様々な立場,考え方を踏まえ公正に判断している。また,これらを追究し考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。ｃ:現代の経済社会における個人,企業や公的部門の経済活動に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し,経済活動の在り方などについての学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 ｄ:現代の経済社会における企業の働き,公的部門の役割と租税,金融機関の働きなどについて理解し,その知識を身に付けている。	・学習に対する意欲・態度 ・現代的事象への関心 ・現代的事象・事項の理解 ・現代的事象に対する思考判断力 ・課題に対する理解・関心 ・授業への参加態度
	③日本経済の特質と国民生活 （戦後日本経済史）	１.戦後復興から高度経済成長へ ２.安定成長からバブル経済へ ３.日本経済の課題 ４.日本の中小企業 ５．日本の農業 ６．消費者問題 ７.公害の防止と環境保全 ８.労働問題と労働者の権利 ９.こんにちの労働問題 １０.社会保障の役割 １１.社会保障制度の課題	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		
	日本経済の現状と課題	・中小企業 ･雇用と労働問題 ・農業 ・社会保障問題 ・消費者問題	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○ 		
	国際政治と国際経済の動向 国際政治の動向	１.国際社会と国際法 ２.国際的な人権保障と国際政治 ３.国際連合と国際協力 ４.冷戦の成立とその崩壊 ５.こんにちの国際政治	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	ａ:冷戦終結後の国際政治に関する諸問題に対する関心が高まり,国際平和の必要性及び国際連合などの国際的な機構･組織の果たす役割について意欲的に追究し,国際社会における日本の責任と役割について考えようとしている。 ｂ:冷戦終結後の国際政治に関する諸問題から課題を見いだし,国際平	・学習に対する意欲・態度 ・現代的事象への関心 ・現代的事象・事項の理解 ・現代的事象に対する思考判断力 ・課題に対する理解・関心 ・授業への参加態度

	国際経済の動向と国際協力	１.貿易と国際収支 ２.外国為替市場のしくみ ３.第二次世界大戦後の国際経済 ４.こんにちの国際経済 ５.発展途上国の諸問題 ６.経済協力と日本の役割 ７. WTO 体制と発展途上国 ８.近年の地域紛争と民族問題,核兵器と軍縮問題 ９.日本の国際貢献	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	和の必要性及び国際連合などの国際的な機構･組織の果たす役割について多面的･多角的に考察し,国際社会における日本の責任と役割について社会の変化や様々な立場,考え方を踏まえ公正に判断している。 ｃ･冷戦終結後の国際政治に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し,収集した資料の中から国際平和の必要性及び国際連合などの国際的な機構･組織の果たす役割について学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 ｄ：人権, 国家主権, 国際法などを理解し,その知識を身に付けている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが, 学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。